

# 平成26年2月期 第2四半期決算説明会

## 株式会社アルバイトタイムス

平成25年10月15日

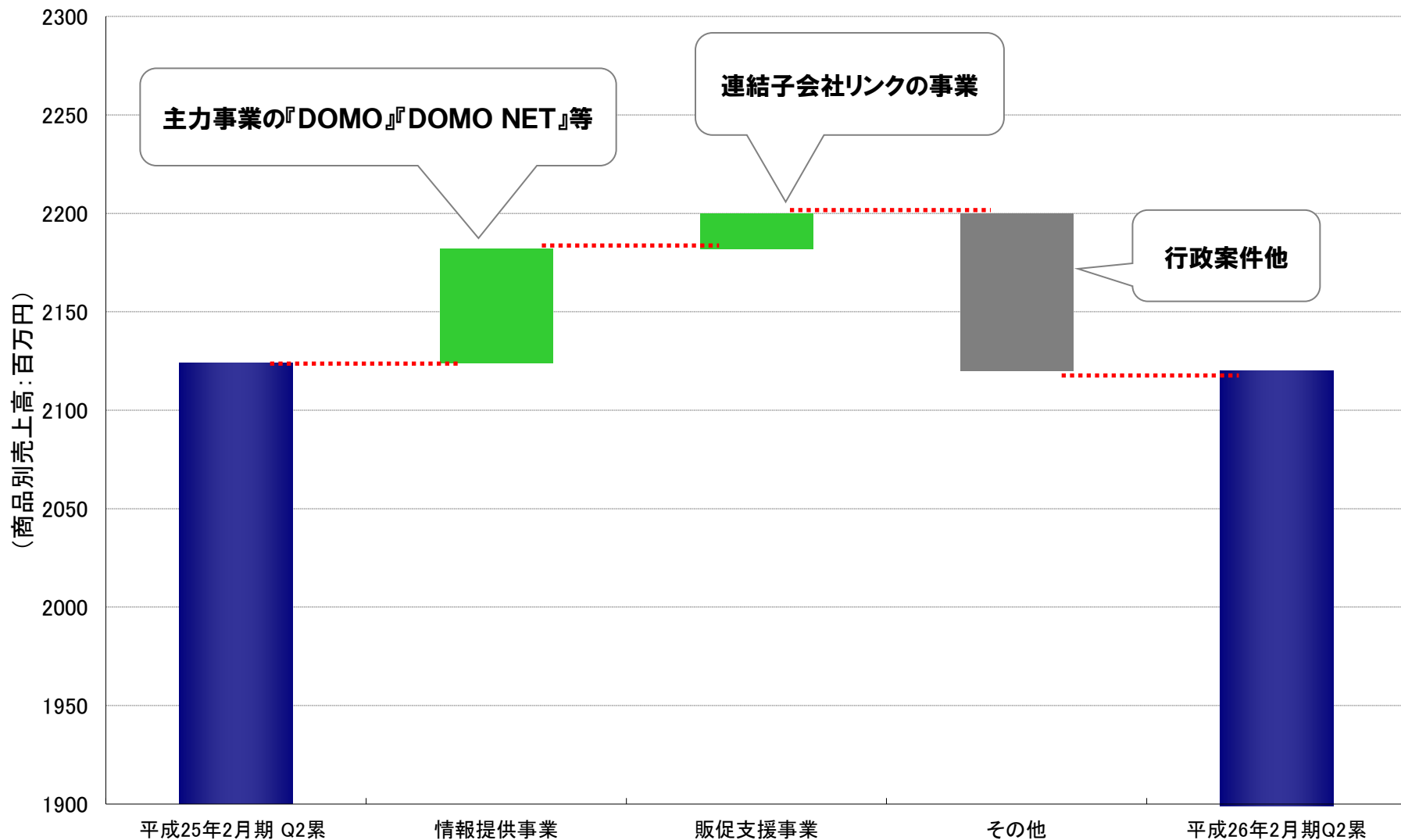
# 連結業績の概要

平成25年3月1日～平成25年8月31日

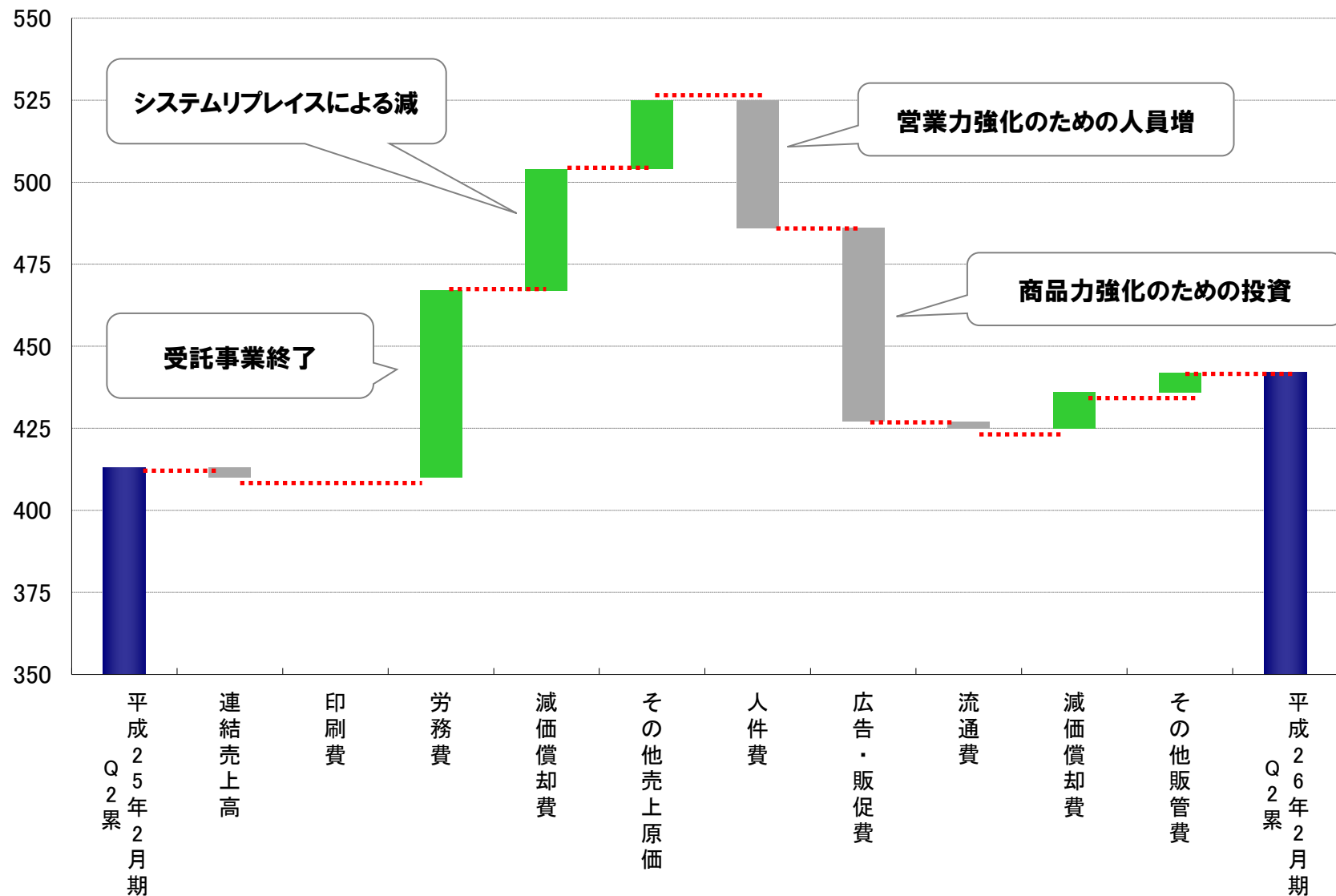
# 平成26年2月期 2Q累計業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成26年2月期Q2累		平成25年2月期Q2累		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	2,108	100.0	2,112	100.0	△3	△0.2
売上原価	591	28.0	706	33.5	△115	△16.4
印刷費	256	12.2	256	12.1	0	0.0
労務費	72	3.4	129	6.1	△57	△44.2
減価償却費	4	0.2	41	1.9	△36	△90.0
その他売上原価	258	12.2	280	13.3	△21	△7.8
売上総利益	1,517	72.0	1,405	66.5	112	8.0
販管費	1,074	51.0	991	47.0	82	8.3
人件費	610	29.0	571	27.0	39	6.9
広告・販促費	185	8.8	125	5.9	59	47.7
流通費	48	2.3	45	2.2	2	5.2
減価償却費	18	0.9	30	1.4	△11	△39.0
その他販管費	212	10.1	219	10.4	△6	△3.1
営業利益	442	21.0	413	19.6	29	7.1
経常利益	440	20.9	414	19.6	25	6.2
税金等調整前	440	20.9	414	19.6	25	6.2
四半期純利益	397	18.8	457	21.7	△60	△13.2
EPS	¥13.48		¥14.82			

# 平成26年2月期 2Q累計業績(セグメント別売上高)



# 平成26年2月期 2Q累計業績(営業利益の増減要因)



# 平成26年2月期 2Q累計業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		平成25年8月末		平成25年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	3,223	78.9	3,309	78.7	△85	△2.6
	固定資産	860	21.1	895	21.3	△34	△3.9
	資産合計	4,084	100.0	4,204	100.0	△120	△2.9
	流動負債	503	12.3	625	14.9	△121	△19.5
	固定負債	0	0.0	—	—	0	—
	負債合計	504	12.3	625	14.9	△121	△19.4
	資本金	455	11.2	455	10.8	—	—
	資本剰余金	540	13.2	540	12.9	—	—
	利益剰余金	3,200	78.4	3,012	71.7	187	6.2
	自己株式	△617	△15.1	△429	△10.2	△187	—
	株主資本	3,579	87.6	3,579	85.1	△0	△0.0
	その他包括利益累計額	0	0.0	—	—	0	—
	純資産	3,580	87.7	3,579	85.1	0	0.0
	負債・純資産合計	4,084	100.0	4,204	100.0	△120	△2.9
	BPS	¥122.63		¥119.73			

# 平成26年2月期 2Q累計業績(CF)

金額・増減額:百万円	平成26年2月期Q2累	平成25年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	377	354	22
投資活動CF	△22	△56	34
財務活動CF	△396	△294	△101
増減額	△41	3	△45
期首残高	2,465	2,265	
期末残高	2,424	2,268	

## ➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前四半期純利益が440百万円、減価償却費が22百万円、売上債権の減少額が48百万円等となった一方で、未払債務の減少額が61百万円、賞与引当金の減少額が47百万円等となったためです。

## ➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、有形固定資産の取得による支出が14百万円、無形固定資産の取得による支出が7百万円等となったためです。

## ➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

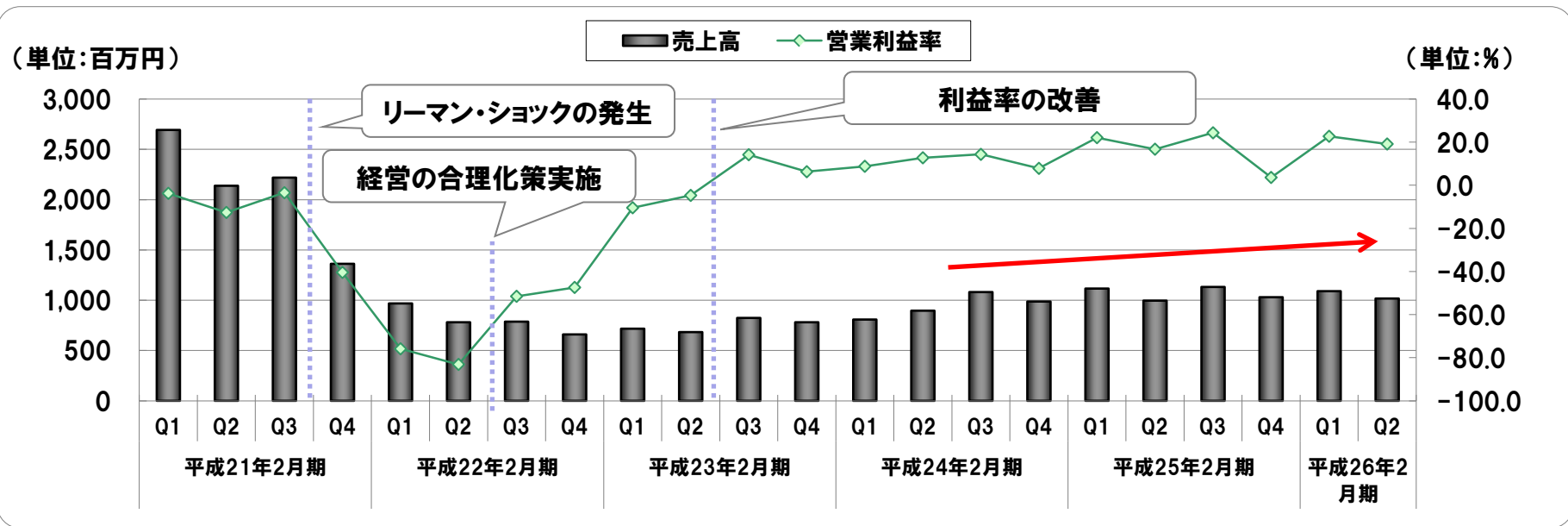
- ◆ 配当金の支払い額が206百万円、自己株式の取得に対する支出が189百万円となったためです。

# 当第2四半期の総括

平成25年3月1日～平成25年8月31日



# 経営環境



急激な業績の悪化→経営の合理化策実施



黒字転換→収益構造の改善

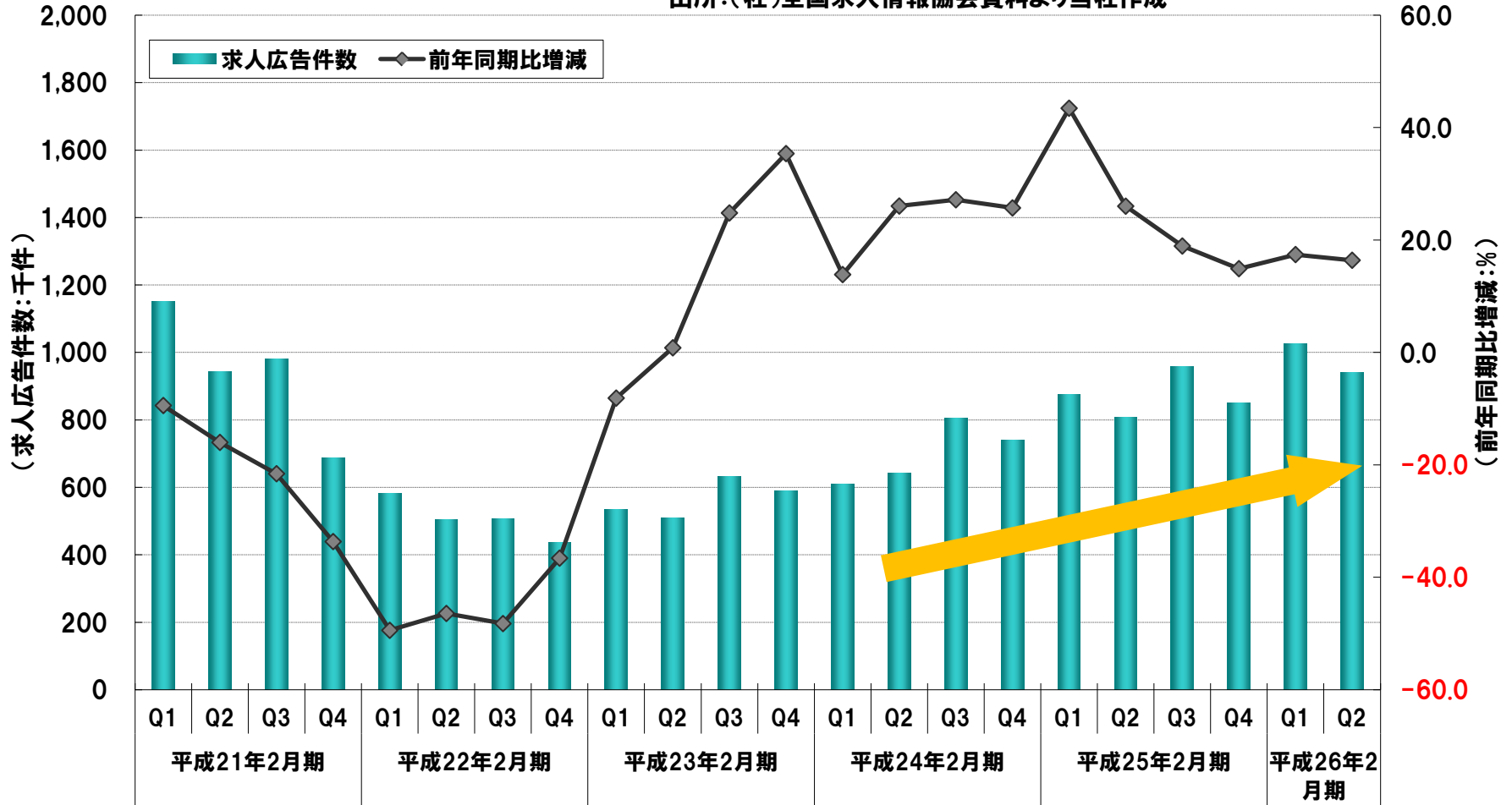
## ➤ 取り巻く環境

- ◆ 既存求人事業においては従来から縮小傾向が進んでいたが、平成21年2月期中に発生したリーマン・ショックを境に業績も急激な速さで大幅に悪化。
- ◆ 合理化策による収益構造の改善から黒字への転換を図るも、平成23年3月に発生した東日本大震災、その後の欧州政府債務危機問題等、経営環境に影響を与える諸問題が発生。
- ◆ 緩やかな全国的求人倍率の上昇と共に、雇用情勢も好転し、安定的な利益を確保。

# 事業環境①

全国の求人広告件数の推移  
(正社員系及び非正社員系の合計、求人情報誌のみ)

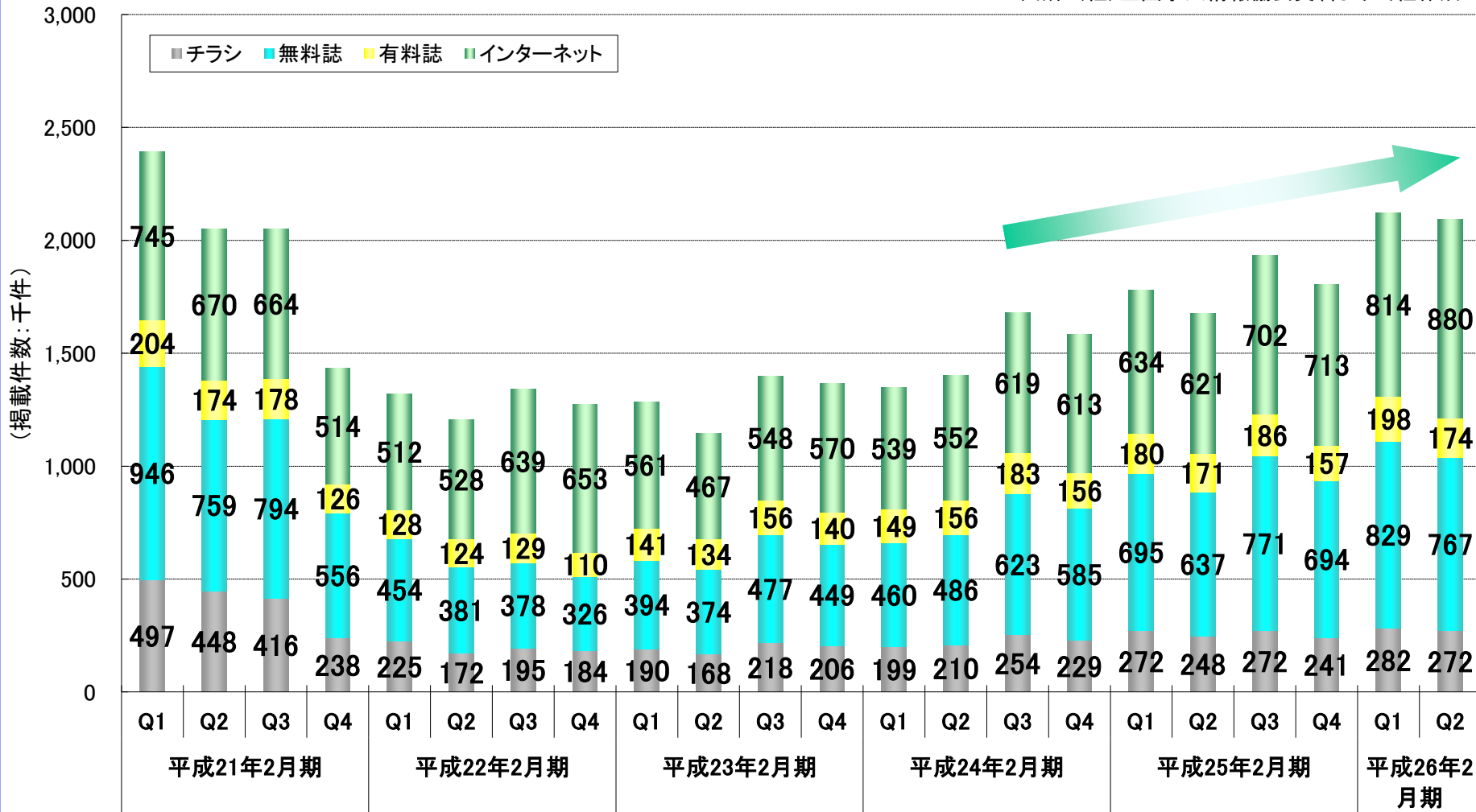
出所:(社)全国求人情報協会資料より当社作成



# 事業環境②

## 媒体別求人広告件数(全国)

出所：(社)全国求人情報協会資料より当社作成



# 当期の方針

## 基本戦略

- 既存事業において安定的・恒常的に利益を創出する
- 資産を有効活用した新規事業によって成長戦略を描く
- 当社グループの理念を根付かせ、自立した企業風土へと変革する

各地域での競争力の強化

収益基盤の拡大

組織力の向上

## 重点施策

- **正社員向けサービスの強化**
  - ◆ 前期に静岡・名古屋エリアでオープンした『JOB』に関東・関西・4エリアを網羅した総合版を拡充
  - ◆ 合同企業面談会『シゴトフェア』を静岡・名古屋地域で継続開催
  - ◆ 新卒採用サイト『TSUNORU』の販売開始
  
- 『WONDERFUL STYLE』を強いブランドに育成
  - ◆ 5月にリニューアル、月刊化
  - ◆ 『DOG！フェスタ』を静岡県西部地区で初開催
  
- **成長に向けた事業リソースの拡大**
  - ◆ 増員及び能力開発による組織力の向上
  - ◆ 事業領域の拡大に向けた社外ネットワークの積極的活用

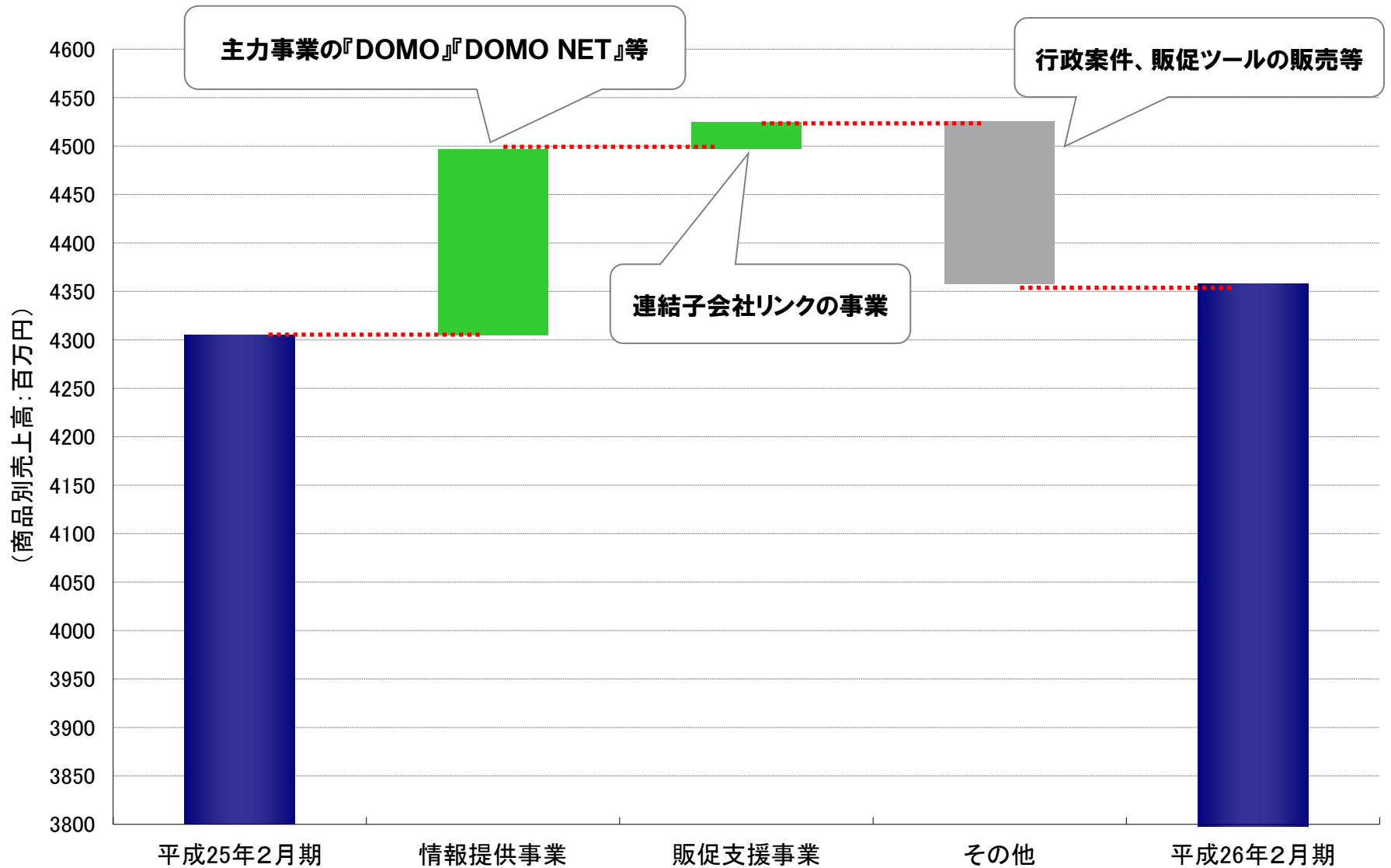
# 連結業績予想

平成25年3月1日～平成26年2月28日

# 業績予想

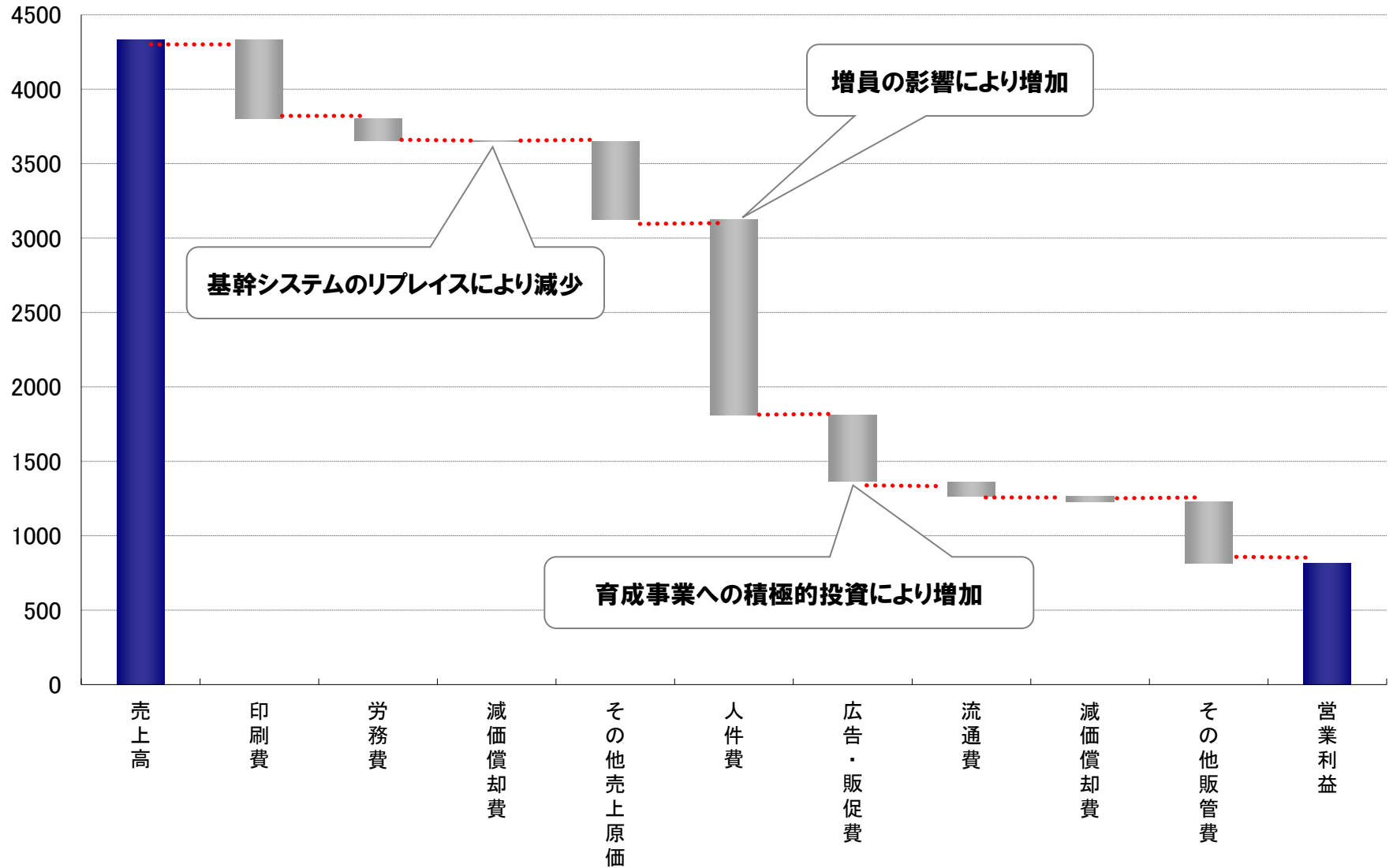
金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成26年2月期		平成25年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,334	100.0	4,275	100.0	58	1.4
売上原価	1,207	27.9	1,354	31.7	△147	△10.9
印刷費	530	12.2	521	12.2	9	1.8
労務費	145	3.4	248	5.8	△102	△41.3
減価償却費	8	0.2	45	1.1	△36	△80.2
その他売上原価	522	12.1	540	12.6	△17	△3.3
売上総利益	3,126	72.1	2,920	68.3	205	7.1
販管費	2,309	53.3	2,193	51.3	115	5.3
人件費	1,316	30.4	1,192	27.9	123	10.4
広告・販促費	446	10.3	357	8.4	89	25.0
流通費	99	2.3	95	2.2	3	4.0
減価償却費	34	0.8	62	1.5	△27	△44.3
その他販管費	412	9.5	485	11.4	△73	△15.2
営業利益	817	18.9	726	17.0	90	12.5
経常利益	817	18.9	728	17.0	88	12.2
税金等調整前	817	18.9	728	17.0	88	12.2
当期純利益	754	17.4	798	18.7	△44	△5.5
EPS	¥25.84		¥26.17			

# セグメント別売上高





# 売上から営業利益までの内訳



## 連結当期純利益の30%を目処

- 当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。
- 一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結当期純利益の30%を目処に配当を行う方針です。
- 当期の配当につきましては、1株当たり7円の期末配当を予定しております。

# 免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

# 連絡先

**株式会社アルバイトタイムス 管理部広報IR課**

**TEL:03-3254-2501**

**FAX:03-3254-2444**

**E-MAIL:ir@atimes.co.jp**

**住所:101-0041**

**千代田区神田須田町1-24 アイセ神田ビル4F**

**HP:http://www.atimes.co.jp**